

第15回議会報告会 意見交換会

質 問 ・ 意 見	回 答
1. 議会	
一般質問をして、議会全体として何%ぐらい成果が出ているのか。	統計は取っていない。 すぐに反映されることもあるが、市役所は決められた予算内で執行しているため、年度途中で一般質問しても、すぐに反映ができず、次年度に実現ということもある。また、議員が粘り強く質問することで、2、3年先に実現するということもある。
合併当時から、人口がかなり減ってきている。 今の人口に対し、議員定数が18名であることをどう考えているのか。	議員定数を減らす必要はないと考えている。また、増やすことも考えていない。 常任委員会の委員数が3～5人になった場合、意見が少なくなり、審議ができない。審議するためには、ある程度の人数が必要である。
2. 公共交通機関	
10年後、15年後、学校が統合されていくと送迎が必要になってくる。 物価高のご時世、家族は働きに出て、送迎ができない。子どもや高齢者だけでなく、高校生にも関わってくる問題であり、通学が安心してできることは、少子化対策の一環にもなるので、対策をしてほしい。 らん・らんバスは、旧南淡町の方は、乗り換えないと市役所も行けない。	らん・らんバスについては、すぐに解決できることとできないことがある。議会の中でも相談し、引き続き質問していく。
淡路市のコミュニティーバスは、10月から路線を延長して、1日3往復、洲本バスセンターまで行っている。 本市は、他市にまたがる路線はできないとのことだが、淡路医療センターへ、洲本バスセンターへ行ける路線を実現していただきたい。	淡路交通には、福良から洲本バスセンターまでの運賃が最大500円とかなり値下げして、協力していただいております。高校生もかなり利用している。 ご意見として、受け止めておく。

3. 避難場所・避難所

松帆地区の避難場所について、松帆活性化センター(松帆地区公民館)は、三原川の堤防より低く、洪水時1階が浸かると外に出られない。また、河川が溢れかけている橋を渡り、避難するのは危険である。市が見直さない現状をどう思うか。

平成16年の台風時に浸水した松帆活性化センターが現在も指定緊急避難場所になっている。浸水する前に早めに避難をしてもらい、建物はしっかりしているので、2階以上に避難していただきたい。また、広さ、備蓄も十分にあるとのことである。

松帆地区に住んでいるが、地元の区長が避難場所は倭文中学校と言っていたが、松帆活性化センターとどちらか。また、倭文中学校は自転車で行くのも遠く、車で行くと渋滞し、逃げられないのではないのか。

どちらも指定緊急避難場所になっている。河川が決壊する恐れがあるときは、近くの強固な建物に垂直避難をしてほしい。落ち着いたら、設備が整っている指定緊急避難場所に避難し、安全を確保していただきたい。

避難時の問題として、介護が必要な方、あるいは移動がしんどい方が増えてきていると思う。そういった方は、一時避難場所へ行くより、直接福祉避難所へ行くことも考えられる。災害が起こる前に、福祉避難所に避難するなど、個別避難計画をしっかりと作っていけば、解決につながると思うが、どうお考えか。

自主防災組織の中で、自助共助公助を基本にお願いしたい。地域のことは、地域でないとわからないところがあるので、消防団や地区長、地区の評議員役員の方々が自主防災組織を作り、地区長を中心に、誰がどんな状態か、毎年チェックを入れ、誰がいつでも動くのかということまで詳しく個別避難計画を作成してほしい。そうすることで、福祉避難所、あるいは指定避難場所の機能が十分に発揮できると考えている。自主防災組織をただ作るのではなく、しっかりとそれぞれの地域で個別避難計画を作成し、危機管理として備えていただきたい。自主防災組織を運営していくための様々な補助金事業もあるとのことである。

能登半島地震があり、各自治会で備蓄しなければいけないと思っているが、なかなか進まない。備蓄品が充実できるよう、例えば地震時の火災対策として消火器など、補助対象の枠を増やしていただきたい。

危機管理課に確認するので、もし必要であれば自治会から要望を出していただきたい。

他に、「福祉避難所を充実させてもらいたい。」、「自主防災組織を運営するにあたり、どんな補助事業があるのか知らない場合もある。議員にも協力してもらいたい。」というご意見があった。

4. 防犯対策	
本市の防犯カメラの設置状況は。	防犯カメラに関しては、自治会の方から危機管理課に申請していただければ、ほぼ設置される。 何か危ない場所があれば、自治会から市に申請していただきたい。
連日報道されている闇バイトの事件のようなことが、淡路島でも起こるかもしれない。市のケーブルテレビでも、詐欺の注意喚起をしているが、凶悪な事件が起きてからでは遅いので、全ての市民が安心して暮らせるよう、戸締りの啓発、闇バイトにまつわる事件の注意喚起などを広報に加えてほしい。	お年寄りの電話の詐欺に関しては、留守番電話で対応するなど防犯対策をしている。 広報紙やホームページで、今以上にしっかりと周知してもらえるように市に求めていく。
5. 少子対策	
小学生の児童数の減少について、深刻な問題と思っている。 増やすための政策などは、どうお考えか。 本市では、すでに奨学金等返済支援事業などしているが、私の意見として、もっと長い目で見た形はできないか。例えば、大学卒業後、淡路島に戻り、奨学金の返済の支援をしてもらえるなら、条件を「帰ってくる」ではなく、「10年間本市に在住すれば学費を支援」というような、現在の子育て世代を引き込めるような形にしていきたい。	市では、本市に3年以上定住意思があり、5年間最大120万円、年間最大24万円の奨学金等返済支援をしている。 令和4年度にできたばかりで、これをもっと充実させることは非常に大事だと思っているので、今後より良い制度となるよう市に求めていく。 児童数の減少に歯止めをかけられるよう、いろんな知恵を借りながら考えていきたい。
淡路医療センターに勤めていると奨学金を免除してくれる制度があるが、それなりの制約があり、それに沿うことができない方も出てくるのではないかと心配である。 南あわじ市独自の政策として、毎月決まった金額を子どもが産める女性、男性に支給することを前向きに考えていただきたい。	市や国は少子化対策で様々な政策をしているが、少子化に歯止めをかける政策として、本市に働く場所を作り、移住者や島外に出ている子どもたちに大学を卒業し戻ってきてもらい、子どもを産み、育ててもらうことが1番と考える。そして、長期的に見て、10年後、15年後に右肩上がりになるよう頑張っていきたい。
本市は移住者が増えているにもかかわらず、出生数が増えていないことに疑問を感じる。年配の方や田舎に住みたいという方が多いのではないか。	定住促進対策として、本市は年配者向けというより、若者向けの事業が多くあるが、まだまだ不足しているところがあると思われる。

他に、「教育を重視している親の場合、大学進学を見据えて、転入する方もいる。本市は第1学区で、神戸市の高校へも進学できる。本市で育ち、神戸市に進学できる選択肢があることは、本市の魅力だと思う。」、「本市の奨学金の事業の金額は、本市に住んで、申し込みたいという金額ではないと思う。増額してほしい。」というご意見があった。

6. 企業誘致

辰美中学校の跡地を国に渡し、駐屯地を作ってもらってはどうか。思い切ったことをしないと出生数に歯止めがかからないと思う。

辰美中学校のことは、白紙に戻った。今後、様々な議論があると思うので、議会としても注視していく。

辰美中学校の跡地に、さくら苑のような施設を作ってもらえないか。先日、老人会長と話をしたとき、ある老人は年金が6万円しかなく、施設に入ることもできず、この夏は熱中症にもなりかけた。何とかならないか。

すぐできるという保証はできないが、ご意見があったということは伝えていく。

神戸大学の実習施設を取得について、まだ用途は決まっていないとのことだが、議案の資料を確認したところ宿泊事業に係る用地取得と書かれている。どうお考えか。

大学の实習施設だったので、宿泊施設としての再利用が適切と思う。市も、近隣の民宿の営業を圧迫しないか聞き取り調査をしているが、まだ具体的には決まっていない。慶野松原の活性化につながる施設になるよう議会として対応していく。

他に、「淡路は車で約1時間圏内にいくつも大学があるので、大学の運動部、サークルを誘致し、神戸大学の実習施設や島内の運動施設を利用してもらい、それに対して補助などをしてはどうか。大学と連携し、人口を増やす政策はできないか。」というご意見があった。

7. 雇用

淡路島は独特の給与制度で日給月給の制度があり、安定した収入が得られるのか不安である。議会からも安定した収入が得られる環境にさせていただくよう要望してほしい。

日給、月給の制度は企業がどういう雇い方をしているのかであり、市や議会が簡単に踏み込めるものではない。

8. 教育

湊小学校にエアコンがないと聞かす。

湊小学校の普通教室にはあるが、特別教室、体育館にはエアコンがない。今後、特別教室には設置していくとのことである。

淡路市では、都会では食べられない田舎のおいしいものを食べたいという若いご両親が移住してきている。
本市にも、若いご両親が移住してくれるように、南あわじ市の給食は、地産地消でお米や野菜が美味しいと全国にPRしてほしい。

給食センターで、地場産の食材を取り入れるなど、様々なことに取組んでいるという印象がある。
安全安心な食材を扱っているということはPRできるのではないか。議会からも情報発信できればと思う。

他に、「湊小学校は、避難場所や教育の場として、また過疎化を止めるためにも地域の核になるので、守っていただきたい。」というご意見があった。

9. 文化

本市には、市歌がない。
兵庫県内に29市ある内の本市を含めた3市には、市歌がない。
ぜひとも音楽によるまちづくりをやっているのであれば、市歌も検討していただきたい。

市歌を要望されていることを初めて聞いた。
担当部署にどのような状況になっているのか、必ず聞いてみる。